

北海道トレッキング 幌尻岳(2052m)登山報告書

作成日：2018年8月7日

- ◇日程 平成30年8月1日(水)～5日(日)
- ◇山行形態 小屋泊まり4泊5日
- ◇交通機関 往復ピーチ航空、道内はレンタカーで移動(四輪駆動のカローラフィルダー)
- ◇費用 ファームうちだ⇄福岡空港往復 自家用車乗合せ 6500円/1人
(1人あたり) 福岡航空-新千歳空港(ピーチ航空)15000～20000円、レンタカー8500円、
宿泊費12000円(2泊で)、参加費1000円 合計40000～50000円(概算)
- ◇参加者 N.I(L)、K.M(会計)、M.K(DR)、M.T、N.U(記録)
- ◇アプローチ 8月1日(水)行き
ファームうちだ6:00=防府西IC=須恵スマートIC=ビッグパーキング8:40
福岡空港➡(ピーチ航空MM455便11:50発)➡新千歳空港14:30～
クイックレンタカー15:45～みやざき旅館17:25
8月5日(日) 帰り
ふかふか停8:30～クイックレンタカー10:30～新千歳空港
➡(ピーチ航空MM456便13:20発)➡福岡空港15:40 ビッグパーキング16:20
～須恵スマートIC～山口IC～ファームうちだ18:55
- ◇コース
8月2日(木) みやざき旅館(7:11)～林道入口(8:07)～イドンナップ山荘(9:58)
…ゲート(10:07)…新冠ポロシリ山荘(15:30)泊
8月3日(金) 新冠ポロシリ山荘(5:10)…渡渉(6:03)…水場(7:55)…幌尻岳(9:37^10:30)
…新冠ポロシリ山荘(13:52)泊。
8月4日(土) 新冠ポロシリ山荘(5:30)…19km余りの林道歩き…イドンナップ山荘(11:10)、
～林道入口～新冠温泉レ・コードの湯～ふかふか停(16:00)泊。
- ◇持ち物 保険証、寝袋、着替え、帽子、コンパス、熊除けの鈴、ライト、地図、雨具、
傘、マット、食器、水筒、レスキューシート、救急薬品、コンロ、防虫ネット、
コッヘル、ガスカートリッジ、クマよけスプレー、虫よけスプレー、携帯浄水器

◇山行記録

8月1日(水) 晴れ

ピーチ航空MM455便12:14福岡空港テイクオフ、快適な2時間のフライトの後、新千歳空港に降り立つ。クイックレンタカーでカローラフィルダー四輪駆動車を借り、JR静内駅前の「みやざき旅館」が今日の宿。働いている方が多く利用する宿らしい、ボリュームのある食事内容が美味しい。

8月2日(木) 晴れ

6時30分「みやざき旅館」の朝食もまたボリューム満点、昼の分まで食べた。7時10分レンタカーに乗り幌尻岳登山口に向け走り出す。舗装道路も途中からダートになり、10時イドンナップ山荘に到着。ここで、Kさんとは別行動になる。トイレや身支度を整え、準備運動をして、徒歩10分でゲート。いよいよ19km余りの林道歩きが始まる。途中、落石注意の看板や崖崩れも数か所見られたが、危険と感じた所は殆どなかった。また、林道に黒くて古い糞も複数見られたが、ヒグマに遭遇することも無く、時間は要したが午後3時半無事新冠ポロシリ山荘に到着、山荘前広場にテント数張り。ヨレヨレになって辿り着いた新冠ポロシリ山荘はやはり遠かった。夕食を済ませ早めに就寝。

8月3日(金) 晴れ

4時起床、今夜も宿泊する為寝床はそのままに、朝食とトイレを済ませ、浄水器で飲料水を作り、準備運動をし、5時10分山荘脇の登山道を歩き始める。暫くは、右に幌尻沢を流れる激しい水音を聞きながら、登山道は明瞭だが両脇の笹藪が意外に手ごわい。途中小さな沢をいくつか渡るが、増水すると渡れない唯一の渡渉地点には6時到着。が、大小の岩を飛び石に、多少靴は濡れたが、踏み外すことも無く渡り切った。殆ど登りの急登が続く登山道だが、唯一の水場に到着したのが8時、冷たくて美味しい水が大量に流れ出していた。見上げると、急斜面の途中から溢れ出ており、飲んで大丈夫。小休憩後、暫く登ると広大なお花畑に出る。白黄赤紫と様々な高山植物が咲き、黄色のウサギソウが多く見られた。チングルマは花が散り、細い毛が風にそよいでいた。巨岩を過ぎ、左からの別ルートとの分岐に出ると山頂は近い。9時37分幌尻岳山頂(2052.4m)到着、10名くらいの登山者あり。天気も良く、果てしなく広大な日高山脈を、360度の大展望で満喫する。幌尻岳から北北東に戸鳶別岳(とったべつだけ:1959m)方面を望む、その東斜面に七ツ沼カールがあるらしいが、我々はここまで。登りが4時間半、元来た道を下り3時間半、午後2時前に新冠ポロシリ山荘到着。それにしても今日は暑かった。

8月4日(土) 曇り時々小雨

新冠ポロシリ山荘4時起床、朝食とトイレを済ませ、飲料水を浄水器で作し、5時半長〜い林道歩きが始まる。曇天のせいか今日は涼しい、それに、昨日は幌尻岳にも登頂出来た為、何だか足取りも軽く感じる。途中から小雨が降り、山にはガスがかかったようになり、昨日、登頂出来て本当に良かったと思った。林道に真新しく真っ黒い糞が複数見られ、発見の度に皆で笛を吹き、近くに潜んでいるかも知れないヒグマに知らせた(つもり)。そのせいかどうかは分からないが、今回の山旅中ヒグマに遭遇することは全く無かった。ポロシリ山荘まで2km・5km・10km・(15km)の表示板を、心の支えにしなが、ヨレヨレになりながらも、10時50分ゲートを見つけた時は心底安堵した。その先のイドンナップ山荘(避難小屋)には、既にKさんが待っていてくれた。レンタカーに乗り込み、互いの近況を報告しあい、まずは「新冠温泉レ・コードの湯」で、3日間の汚れを落とす。途中お酒等を買、サラブレッド銀座通りを走り、今日の宿「ふかふか亭」に午後4時到着。ログハウス内の清掃が行き届いていて、2階の部屋が今夜の寝床。7時半から夕食、みやざき旅館と違い、献立もオシャレな内容だった。

8月5日(日) 雨曇り

朝食もオシャレ、コーヒーに、ほろしり牛乳が濃くて美味しい。オーナーご夫妻との会話も有意義で楽しかった。ご主人に見送られ、日高道に乗り、ふかふか亭のご主人から聞いた道の駅「鷗川四季の館」に立ち寄り、北海道産のシシャモを購入。その後レンタカーを返し、新千歳空港まで送迎。私は新千歳空港地下1階の、JRみどりの窓口前で妹と待ち合わせ、クマよけスプレーと、ガスカートリッジ4個を、来年まで保管してもらおうよう依頼した。ピーチ航空MM456便13時48分新千歳空港テイクオフ。福岡空港に16時前に到着。防府西〜徳山西が交通事故の為渋滞、中国道山口インターで出て262号から防府へ。

◇今後の為に

天候に恵まれ、4人で幌尻岳(2052.4m)の山頂に無事立つことが出来た。糸納峰(イドンナップ)山荘から新冠ポロシリ山荘までの19kmにも及ぶ林道歩きも何とか耐え、懸念していた渡渉も、飛び石を踏み外さずに渡り終えたが、大失態だったのが寝袋を忘れてきたこと。一時は呆然としたが、Tシャツの上に長袖シャツ、さらにダウンジャケットを着

こみ、さらに、Iさんが貸してくれたダウンジャケットを、ズボンの上から巻きつけ、夜半寒く感じたら雨具上下(GORTEX)を着こみ、足をザックに入れたら全く問題なく眠れた。逆に、良かった事は、新冠ポロシリ山荘内に引き込んである沢水が、生では飲めないらしく、非常用に持参した携帯浄水器が、4人分の飲料水を賄うのに、大いに役に立てたこと。同山荘横から少し降りると幌尻沢に出る、行水をしたが、さっぱりして気持ち良かった。奥新冠ダム近くの林道脇の、大岩から滴り落ちている清水の冷たくて美味しかったこと。幌尻岳お花畑直下にある水場も、こちらも冷たくて美味しかった。2日(木)新冠ポロシリ山荘に到着した時には既に2階にも多くの登山者がスペースを確保していたが、翌3日(金)は宿泊者も少なく、余裕でシュラフマットを広げることが出来た。1日(水)に宿泊した「みやざき旅館」JR 静内駅のすぐ近くにあり、ボリュームのある美味しい食事がいい、風呂も大きくて清潔だった。余談だが、日高本線は2015年から一部廃止になっており、静内駅構内の線路も錆びていた。駅舎も構内も綺麗に維持されていたが列車が入って来ないと思うと逆に寂しさを覚えた。4日(土)に宿泊した「ふかふか停」、清潔でオシャレなログハウス、食事メニューもオシャレ、オーナーご夫妻との会話も有意義で楽しかった。「新冠温泉レ・コードの湯」小高い丘の上に異様なほどの豪華な建物が建っていて入浴料が500円、湯船にゴミ一つ浮いていなかった。お勧め。

あくまでも個人的な見解として、幌尻岳登山の今回のコース(新冠陽希コース)は、北アルプスのような危険な所はなく体力勝負の山と思った。携帯浄水器は必携、渡渉箇所は雨が降れば、ほぼ不可能。また、航空機を利用する場合、ストック、金属製の水筒、ミニナイフ等は受託手荷物(有料)にする。モバイルバッテリーは、必ず機内持ち込みにする。ペットボトル飲料は、保安検査を通過した後に購入すればいい。ガスカートリッジ・クマよけスプレーは現地調達。各航空会社のルールは事前に熟読しておきたい。

◇参考

みやざき旅館 新日高町静内 0146-43-3678 2食付き 5,800円

ふかふか停 新冠町緑ヶ丘 0146-47-1644 2食付き 6,800円

クイックレンタカー 0123-40-0919

新冠ポロシリ山荘 トイレあり、水あり、但し生水は飲まない。利用料1000円/一人1泊

◇最後に 記憶に残る山行だった、計画にご苦労されたIさん同行の皆さん、それに、携帯浄水器について、アドバイスをいただいたMさんに感謝を申し上げたい。

